

## 令和元年度青少年「平和と交流」支援事業（ひろしま子ども平和の集い）報告書 日向 HuRP（宮崎県日向市）

### 1. 平和祈念資料館の見学

資料館では、焼け焦げた三輪車や衣服などの実物や、被爆後の写真などもたくさん展示してありました。また、当時のことがすごく細かく書いてあり、重い内容ばかりで胸が締め付けられる思いがしました。この、ヒロシマで起こったこと、絶対に忘れては行けないと強く感じました。訪問者の感想ノートに書いてあった、「みんなが生まれてきて良かったって思える社会になれ」という言葉が印象的でした。



### 2. 平和祈念式典への参列

雨の降る中、たくさんの方が参列されているのに圧倒されました。広島市長さんの平和宣言の中に、被爆地の核兵器廃絶への強い願いを感じ、HuRP が取り組んでいる「高校生一万人署名活動」の意義を改めて確認できました。



### 3. 舟入高校「また会いましょう」観劇

広島市立舟入高校演劇部の皆さんによる原爆劇「また会いましょう」を観劇させていただきました。被爆者の佐伯さんの体験に基づいた演劇らしく、被爆者の方々の思いがよく伝わってきました。自分たちでも、今後、劇という形で平和の大切さを訴えられるようになりたいなと思いました。



#### 4. 被爆体験講話

小学1年生の時に被爆された末岡さんの体験を聞かせてもらいました。一発の原子爆弾で、祖父母や親せきの方を亡くされた末岡さんのお話は、実際に体験した人でなければ語れない内容でした。淡々と語られながら、時々、ふうっと当時のことが目の前に現れてきているような表情、間。そのようなことから、被爆者の方々の悲しみ、核廃絶への強い願いが感じ取れました。



#### 5. 灯籠流し

平和への願いを込めた灯籠流しを見学しました。外国の方々も大勢、参加されていてとても幻想的な風景が広がっていました。この川に、熱線で焼かれた人々が水を求めて来たことを思うと、手を合わさずにはいれませんでした。



#### 6. フリーディスカッション

(平和首長会議独自プログラム)

4団体によるフリーディスカッションに参加しました。まず、広島の中高生ピースクラブによる原爆被害の説明がありました。その後、グループ別に集まり、各地域での平和学習などのフリートークが行われました。短い時間でしたが、同じ思いを持った仲間と情報交換ができ、有意義な時間を過ごすことができました。



## 7. 平和記念公園見学（ピースボランティアの方と）

ピースボランティアの方に案内していただき、平和記念公園を見学しました。最終日で、猛暑だったので疲れていましたが、慰霊碑や原爆の子の像、原爆ドームなどについて説明を聞きながら回りました。今の核兵器の現状なども話をいただき、広島平和学習のまとめとして、とても良い体験になりました。ボランティアの方が、「私の話を聞きながら、想像力を最大限に生かして見学してほしい」と言われたことが印象的でした。



## 8. まとめにかえて

広島での3日間は参加者6名の1人ひとりにとって、かけがえのない体験になったと同時に、長崎にしか平和学習に行ったことのなかったHuRPにとっても貴重なものとなりました。残念ながら、11月に予定していた「HuRP 平和の集い2019」は顧問の先生の体調不良により延期することになりましたが、今後、機会をみつけて広島・長崎で学んだことを地域の方々に報告し、改めて若い世代が戦争の悲惨さ、平和の大切さを伝え続ける必要性を訴えていきたいと思えます。

高校生一万人署名活動の合言葉である「私たちは微力だけど、無力ではない」を心に秘めながら、全国の仲間とともに頑張りたいです。

今回、このような機会を作っていただいた広島市や日向市の方々に深く感謝して、報告に代えさせていただきます。ありがとうございました。